新しい理論体系の創造者と考え、そのために真鍮系の研究において、彼を古典学派の先駆けに

変遷と『販路法則』と「セーフ法則」は、それぞれでの社会的状況、両説を保持する力から、両説を

当時それまで「土地市場」の視点で、『販路法則』と「セーフ法則」は、それぞれでの社会的状況、両説を保持する力から、両説を

失敗と錯誤を運べば、へつとめることがなかっ、た。著者の手に、

麻生久伝刊行委員会、定価千円

今日、ごの書が現われた意義は、一つ

今日、ごの書が現われた意義は、一つ

されないわけにはゆかない。この点を別とすれば、

大時間の問題で、『販路法則』と「セーフ法則」は、それぞれでの社会的状況、両説を保持する力から、両説を

麻生久伝刊行委員会、定価千円

今日、ごの書が現われた意義は、一つ

されないわけにはゆかない。この点を別とすれば、

麻生久伝刊行委員会、定価千円

今日、ごの書が現われた意義は、一つ

されないわけにはゆかない。この点を別とすれば、

麻生久伝刊行委員会、定価千円
（1）早から、八四年の際に成立したから、この時用、研究者と呼ばれる経済学の学

（2）スミスから言專家まで、経済の中には完全競争、価格均衡が存在するという観念が、その時から存在しており、スミスの考え方に基づいた、価格理論を前提とした実証的分析が行われていた。これに反して、ケインズは、市場を単なる交換の場、市場経済として捉え、価格機能の不足を指摘し、特に需要側の不足が問題であると主張した。これに対して、ケインズの考え方は、経済学の発展において、特に重要な役割を果たしたと言える。

（3）古典学派の理論は、価格理論と景気理論の二つの柱を支え、価格理論は、市場の達成に対する理論を提供し、景気理論は、市場が達成されていない場合には、その原因を分析し、政策の範囲を示すものである。その後、マールタス、ミル、ケインズ、ミッチャー、リードの理論は、この二つの柱を基に、経済の成長を追求するための政策を提案した。特にケインズの理論は、現代経済学において、重要な役割を果たしている。

（4）古典学派の理論は、市場の達成が自動的に実現されるという前提をもとに、価格理論の構築が行われた。しかし、ケインズの理論は、市場の達成が必ずしも自動的に実現されるとは限らないという観点をもとに、新たな理論構築を試みた。この違いは、経済の成長の観点からのものであり、ケインズの理論は、成長の観点から、市場の達成が実現される条件を分析しようとしたものである。

（5）古典学派の理論は、市場の達成に対する理論を提供し、景気理論は、市場が達成されていない場合には、その原因を分析し、政策の範囲を示すものである。これに対して、ケインズの理論は、市場の達成が必ずしも自動的に実現されるとは限らないという観点をもとに、新たな理論構築を試みた。この違いは、経済の成長の観点からのものであり、ケインズの理論は、成長の観点から、市場の達成が実現される条件を分析しようとしたものである。
『現代中国の企業形態』

著者： 借 西立

内容： 第一部 経済史における社会主義形態

第一章 中国の社会主義形態

第二章 社会主義形態の経済史的考察

第三章 社会主義形態の経済史的考察

第四章 社会主義形態の経済史的考察

第五章 社会主義形態の経済史的考察

第六章 社会主義形態の経済史的考察

第七章 社会主義形態の経済史的考察

第八章 社会主義形態の経済史的考察

第九章 社会主義形態の経済史的考察

第十章 社会主義形態の経済史的考察

参考文献：

1. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

2. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

3. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

4. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

5. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

6. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

7. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

8. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

9. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年

10. 借 西立：『現代中国の企業形態』，学林評論，1999年